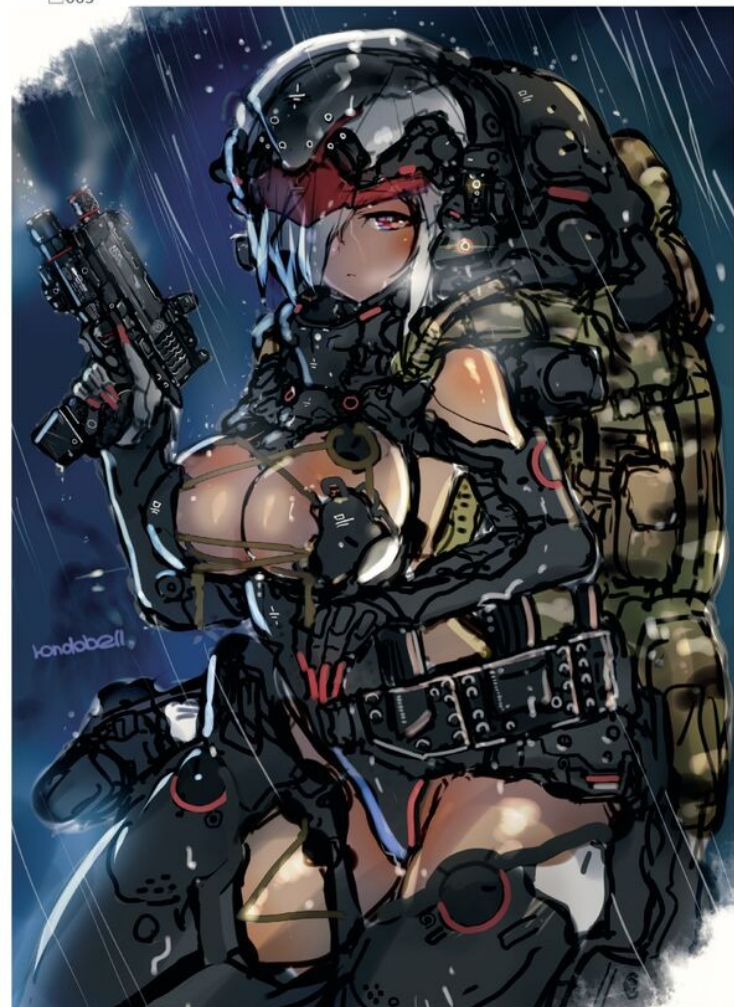




■ rondo bell ヲリノミナシ [RS:refactoring5] 2018.





■はじめに

R5ご購入ありがとうございます。
今回はオリジナル兵装少女「mil:file」だけを集めました。

「mil:file」(読：ミルフィーユ)は、兵器や武装を表す「mil」と、少女を表す「file」を掛けてつけた名称です。
お菓子のミルフィーユがパイ生地にクリームなどを挟むので、パイ生地が兵装、クリームが少女という感じでしょうか。

今回は「mil:file」の中でも「jk」と呼ばれるクラスにスポットを当てています。
R4に収録した、
「碧い海のアーネリス」海洋人魚格闘球技SF
「蒼光のアクアバレット」海洋水鉄砲シューティング
同様にまだまだ叩き台のコンテンツですが、楽しんで頂けますと幸いです。

■
ちょっとあとがきを書く余裕が無いので、
いきなりなんですがここであとがきを・・・
今回はデスクトップアーミー・MCあくしず・新約SDガンダムカードダス、
ほかSDスィングの案図と色んな商業が重なって中々着手出来ずでした・・・

今年の5月から始まったpixivfanboxにとっても助けられました。
継続・または一度でもご支援頂いた方、本当にありがとうございます。
おかげさまで夏にR4も出すことが出来、そちらもオリジナルだけで
まとめることができました。
fanboxは今着実に作るモチベーションになっています。
これからも頑張ります(*´▽`*)9

作業中BGM ♪：∀ガンダム「軍靴の記憶」

2018.12.12
kondobell
おかげさまで
♡



■mil:fille mod:[jk] (jagd:katze)

ミルフィーユは兵装に身を包んだ少女体の総称。
様々なクラスがあり、まるで戦車を着込んでいるような重武装なものから、軽装なものまで、その容姿・種別には色々な種類が存在する。

[jk]は、mod、type、classと様々な呼び名のある1つのカテゴリーで、[jagd katze]ヤークトカッツェ（狩りする猫）と呼ばれる最軽量の部類のミルフィーユを指している。

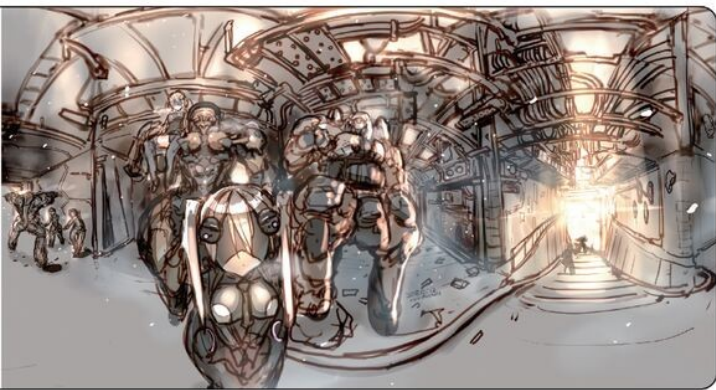
ヤークトカッツェ（以下jk）には、制服（制御服）でコミュニティを形成する、気に入ったものを舐めて認識する、目隠しをしている、など、様々な外見上の特徴がある。

男性型の戦闘体であるドロイドとパティを組む事でも知られている。

普段は制服のコミュニティごとに集会所を形成しており、そこで学習をしたり（あまり身が入っていない）主に射撃訓練、好きなタイプとイチャイチャしたりアレコレする事、そして戦闘行為である「バイト」に明け暮れている。

外見上の年の頃と、生活様式が女子高生と似ている所も、ヤークトカッツェがjkと呼ばれる所以でもあるようです。

自由奔放でさまぐれな猫っぽい性分の個体が多いのもjkの特徴だ。



□007

■目隠しをしているのは、瞳を再生させるのが技術的に難しいのと、氷の虹彩が特殊な事、そして敵性体に顔を覚えられてしまうと厄介な事など、複数の理由がある。
射撃をするのに目隠し・・・と言う感じだが、視界が人間のものより若干広がるため、戦闘には向いているらしい。
氷たちが訓練の時間を長く取るのは、アイバイザーを外して裸眼でも訓練するため必然的に長くなってしまおう。
生身のカラダの氷は自分の意思で感覚と神経を鍛え、アジャストさせないと、いざという時に思った所に撃てないのだ。

■戦闘体だが、氷には生殖能力があり、地上をゆっくりと優す存在である敵性体は氷のカラダと、その謎の多い能力を狙っていると見られており、氷を捕らえ、同じ能力を持った敵性体を作り出される事が懸念されている。

■周辺の敵を引き寄せる氷が戦闘に出るのは、氷自身に戦闘経験を積ませないと、いざ本陣に攻め入られた時に一網打尽にされてしまうため。
普段から「バイト」で戦闘経験を積むことで、敵性体への対処法を学んでいる。
主に敵性体は夕方～夜に活発になるため、ある程度経験を積んだ氷はその時間にバイトに出て「夜渡り」を学ぶ(夜渡りとかけているらしい)

屋間は敵性体の動きが鈍化しているため、危険度は低く、経験の浅い氷のバイト対象になっている。

■援攻(ドロイドによる援護攻撃)
ドロイドを避けるように敵性体は動くため、氷とペアで居ると氷が敵性体を振り出す存在になるため、周辺のクリアリングに役立っている。
が、多くのドロイドにとって、なんか女の子をダシにした図漁っぽくて嫌だなあと思っている。
その分、敵性体から氷を守るために援護攻撃(援攻)がんばらなきゃとドロイドも気合が入る側面がある。
(中には困る自分に興奮して楽しむひねくれ氷も、興奮するドロイドも存在する)

■人間も存在し、人間の男性を好きになる個体も居る。
(スポットはドロイド×少女の異形カップル、少女×少女のいちゃいちゃなので、ヒューマンが出てくるのはもうちょい先ですね)



■ バイト

■バイト(氷とドロイドの戦闘行為)

敵に咬み付く事から「バイト」と呼ばれている戦闘行為。
敵性体は機械と生体の特徴を併せ持ったハイブリッド。
活動を停止するとエネルギーを持った金属資源に変換され、氷やドロイドたちの弾薬や装甲素材などに活用される。
地表では手に入らない資源も多くあり、宇宙から飛来する隕石に含まれるものが多いことから、隕石のカケラたちとも言われている。

エネルギー源にもなるため、氷たちの使う外骨格の駆動エネルギーのコアとしても使用されている。
氷たちのカラダに異様に反応する特性があり、氷たちが歩哨として歩くだけでもぞもぞと姿を現すものが多い。
植物のようなものや、芋虫のようなもの、機械の動物のようなものとカタチは様々、廃墟になった研究地跡、実験施設などを根城にしており、戦力的には拮抗・氷側がしわじわ押され気味の戦況になっている。
どうやら各地に出現基地のような地点があり、そこを叩くことで周辺の環境が劇的に改善されるという報告もあるが、特定も撃退も難しいのが実情の様子。

基本的に氷たちを生け捕りにしようとしてくるので、射撃の縮さえ良ければ撃退するのはそう難しい事ではなく、氷は通常ドロイドとペアで行動するため、捕獲される確率は相当低いものの、捕獲されるとかなり厄介なため、座学はおろそかにしても、皆実技訓練には力を入れている。
カミが終れる... カミ...ドロイド数回に捕獲...アタラシ...



■ヘッドバイザー。顔面をすべて防護するが、あまり快適とは言えないので皆極力着けない。



■仲良しjk3人組

jkたちは皆数字で管理されている。一部の例外を除き、数字被りは無い。欠番になっている数字も存在する。

■目隠しをしているjkたちにとって、オデコのアイバイザーの目玉LEDは表情が必要なコミュニケーションにおいても不可欠なもの。可動して目の位置まで持ってくるが、大抵はこめかみの辺りにセットしているため、ちょっとマヌケな顔に見える。

□011



■jkの素顔。皆眼帯をつけているだけで、その下には愛らしい瞳が隠れている。



□010



■競泳水着インナーを着用しているため、スカート越しに一見パンツをまるだしにしているように見えても、本人たちはあまり恥ずかしくない。動きやすさ重視のため、わざとスカートを捲ってインナーを露出させている者も少なくないほど。

□013

■脚前面をカバーする半透明特殊軟質素材は膝を曲げても追従する。
一見すると乳白色のタイツのように見え、jkのスラッと長い脚を際立たせる。



□012

■jkの標準装備。競泳水着インナーの上から制服（制御服）を着用する。



□015

■白タイツのように見えていた部分が黒色になることで引き締まった印象に。素顔が見えている状態だと、アイバイザーの表情LEDは消灯する。



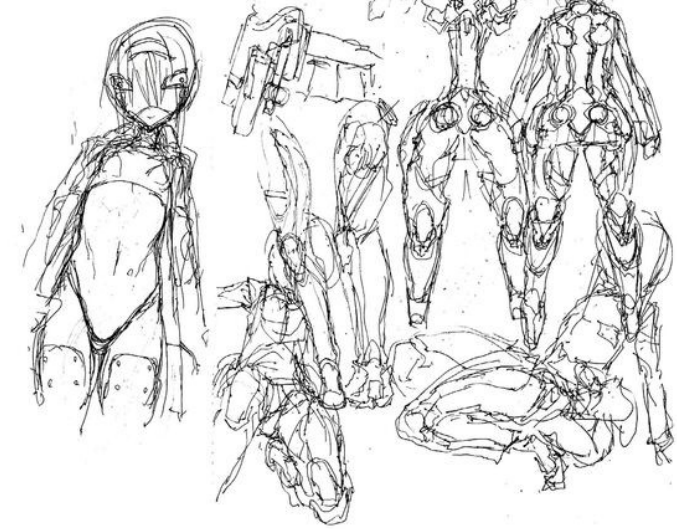
□014

■素足・素顔。黒い全身スーツを着ない時はインナー競泳の黒面積がちょっと増えたりする。





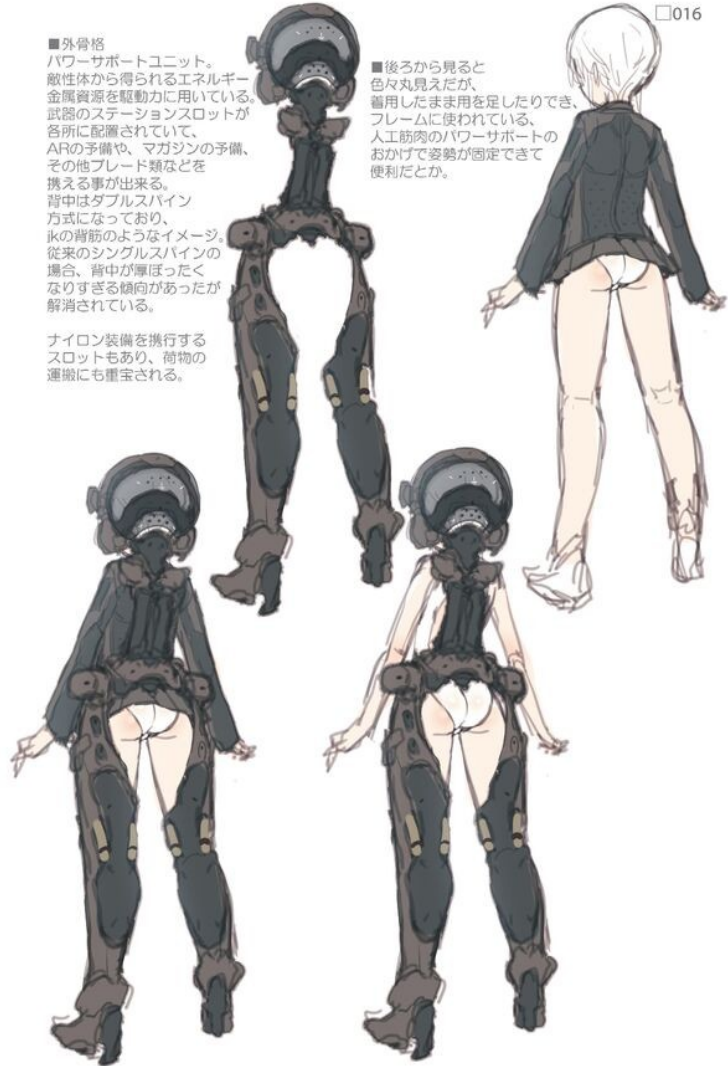
■イメージスケッチ
 眼帯の上にある
 アイバイザーは可動式で、
 目の表情を作ります。
 これでサングラスを
 かけているような、
 ちょっとヒーローっぽさと
 女の子なのにメカっぽい
 感じが出て中々良い感じ。
 アゴの左右についてる
 パーツは、チンガードを
 兼ねた牙のようなパーツ。
 女の子の顔が後頭部から
 包まれるように、
 異形のメカにバクッと
 食べられてるような風にも
 見えます。
 メカと生体が共生してる
 イメージ。



■外骨格
 パワーサポートユニット。
 敵性体から得られるエネルギー
 金属資源を駆動力に用いている。
 武器のステーションスロットが
 各所に配置されていて、
 ARの予備や、マガジンの予備、
 その他ブレード類などを
 携える事が出来る。
 背中はダブルスパン
 方式になっており、
 従来のシングルスパンの
 場合、背中が厚ぼったく
 なりすぎる傾向があったが
 解消されている。

ナイロン装備を携行する
 スロットもあり、荷物の
 運搬にも重宝される。

■後ろから見ると
 色々丸見えだが、
 着用したまま用を足したりでき、
 フレームに使われている、
 人工筋肉のパワーサポートの
 おかげで姿勢が固定できて
 便利だとか。



■アーマージャケットは消耗品。特に生地部分は比較的頑丈な素材で作られているものの、合成繊維はそこまで質が良いわけではなく、だんだん裾の部分からへたれて行く。生地・装甲部分と耐用年数が違うため、新品の生地に使用感のある装甲をつけている者も多い。

資源は貴重なので、使えるものは性能が発揮されるギリギリまで使うようだ。



■アーマージャケット
訓練後に汗をかいたJKがそのままバサッと羽織る事が多い便利なジャケット。ごわごわと響そうだけど、肌にベタッと引っ付かないフワッとした形状と、効果的なベンチレーションにより、丁度いい温度を保ってくれる。放ってサウナスーツのように生地ベンチレーションを閉じる事もできるので、中には汗でムレムレになるのを密かに偷しむ者も居る。

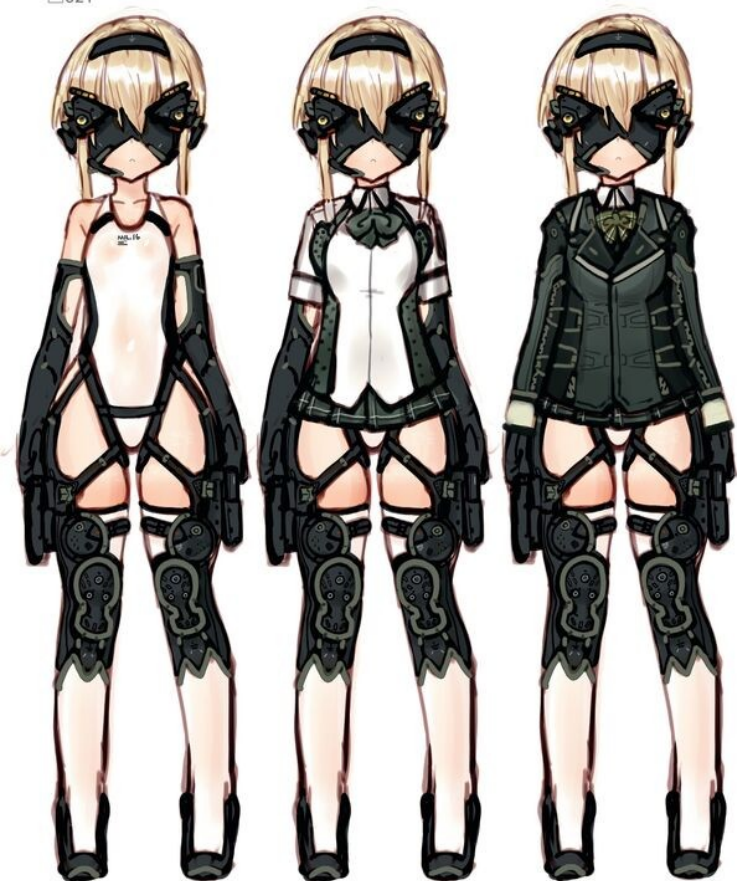
いざという襲撃の際、最低限そのまま戦闘が出来るように、装甲が備わっている。

ゴツい見た目ながら、パーツがモジュール化されており、脱着が可能で、丸洗いが可能なので、基本的に綺麗好きのJKたちは洗濯していつも良い匂いの状態で使用している。それぞれの香りがあるため、JK同士でたまに交換して着ては、くんくんと襟元を嗅いで頬を赤らめていたりする。

それぞれ干す所を決めてるので、だいたい同じ所で同じ色のジャケットを見かける。

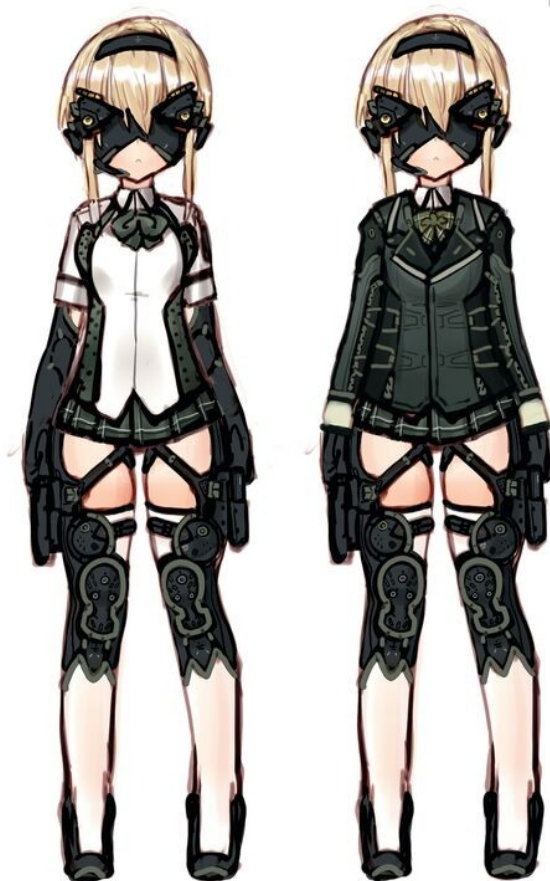
JK達は安全な敷地内では開放的な格好になる事が多いため、このようにスポーツタイプのインナーの上にラフに羽織ったりしてテクテク歩いたりしている。





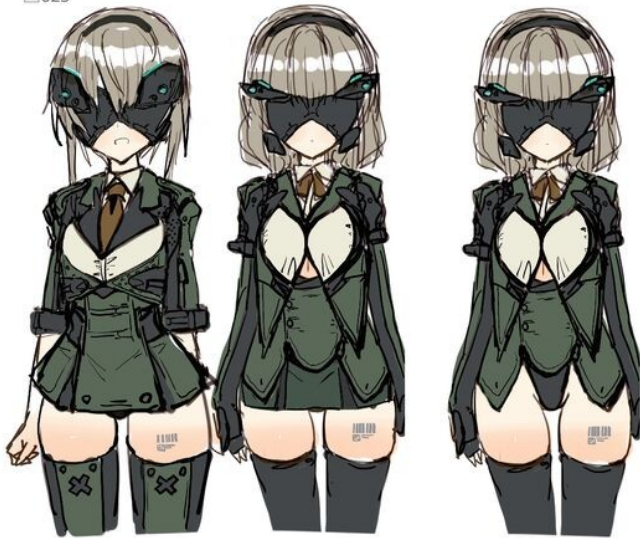
■制御服インナー

制御服の下には競泳水着タイプのインナーが標準で、他にもブルマとタンクトップなどのスポーツタイプ、一応天然素材の下着も存在する。が、一番人気はこの競泳タイプ。訓練では動きやすさを重視するため、ミニスカートがもうスカートの機能を果たしていない程に持ち上げてインナーが丸見えの者も多い。銃火器のスロットになる両フトモモ部のパーツを保持する役目のあるハーネスがアクセントになっている。



■制御服（制服）

JKたちがコミュニティを識別する特徴の1つである制服。同じ制服を着ている者は基本的には一連托生の仲間ではあるが、個人個人では相性があり、中には犬猿の仲の者も居る。同じコミュニティに所属する者は制服・それからアイバイザーが同様の形状をしており、身体的な差異（胸が大きかったり背が高かったり）に合わせて、デザイン違いが存在する。基本的に胸が大きくなると制御服で制御しきれないためか、溢れるように胸部がブラウスごと露出するデザインに変わる傾向にある。



■制御服（制服）の仕様

制御という名前がつくように、制服の各部にあるセンサーから着用者の状況を判断し、必要によって若干の形状制御を行う。jkたちは基本的にバイト、射撃がメインの所作になるため、上半身の動きが激しく、背中も丸まって構えるため、可動を妨げないよう、背中や側面にカットが入っている。が、これだと普段では背中側の生地が余り、モコっとしてしまうため、せっかくのカラダのラインが綺麗に見えない。

jk達は可愛さを気にするため、射撃をしない時は制御服側が各部を調整して、胸が可愛く、腰はきゅっと、スカートはふわっと見えるように調整し、射撃の際は脇や背中のスリットを開放し、背中側の余裕を多めに取るようにして、射撃をサポートする。

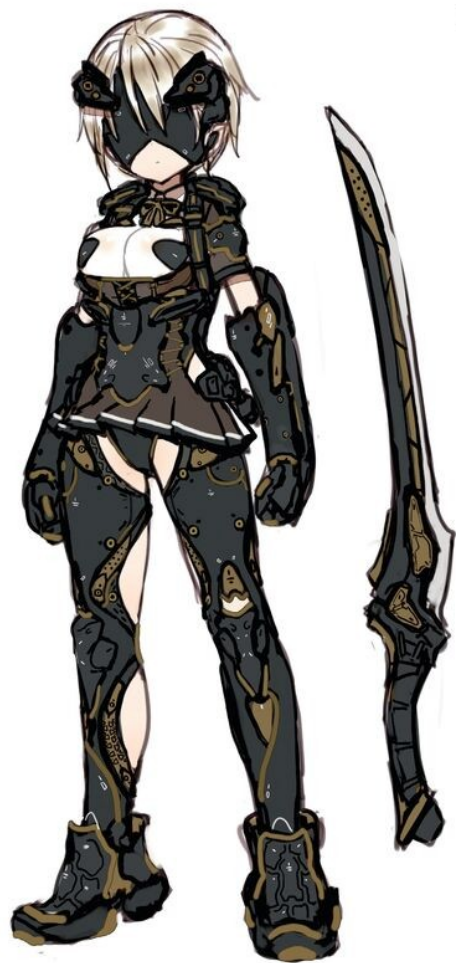
彼女たちにとっては文字通りの勝負服なので、綺麗に着こなしつつ、エロ可愛さを追求してる様子。

同じコミュニティ内でもカラダの実り具合によってデザイン違いがあるのは前述の通り、

生地は何層にもなっており、人工筋肉を薄くレイヤーした層が圧着サポートをしたり、要所所に配した装甲層、特に鎖骨から胸の付け根にかけて、ライフルのストックを押し当てる部分には衝撃吸収を兼ねて効果的に配置されており、少女のカラダに極力疲労が蓄積しないように配慮されている。

また、制御服には裏モードも存在し、過剰に締め上げたりする事が出来る。着衣でアレコレする事を好む層には人気がある。特に後述の102は興奮や刺激を力にするため、このモードを愛用している。





■射撃が基本兵装の永だが、中には空前絶後のハッキリ感を好む者もいる。ブレードを要用する者は身にまとう外骨格も変化している。胸が大きいと動きの妨げになるため、寄せて上げ・左右から持ち上げている。左右の肩がフレキシブルに動くため、左右からトップを隠すように包む黒いインナーは上下に自由度が取ってある。そのため構えによっては右胸が上、左胸が下のようなむにゅむにゅ動くのが見れる。



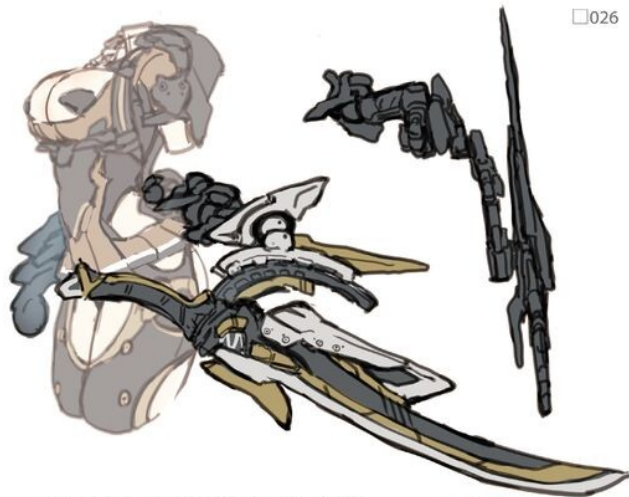
■スキンフードジャケット

ブレードタイプや弓を持つタイプが愛用する。色によっては赤ずきんちゃんに見える衣装。頭部のボンネット内にはカーボンで整形されたプロテクターが分割して収まっており、生地とパラコードの張り具合によって展開し強固なヘルメットフードになったり、必要ない時は後ろにだらりと垂らしておける。

耳の後ろ側には通風孔スリットがあり、籠りがちな空気の循環もバッチリ。斬り込み隊長として突っ込み相手の注意を引きつけたり、散り散りになった敵性体の細かい処理などにその素早さを遺憾なく発揮して活躍する。

ドロイドが戦車とすると、銃を扱う派は中距離サポート、ブレードタイプは近距離特化のアタックユニット。1人居ると心強い存在。武装は使い込むとより細かい行動が可能になる。武器の威力そのものより、如何に的確に、最小限の動きで相手を仕留められるかのカラダの使い方と呼吸法を身につけ、様々な局面で機転が効くようになる。

射撃が上手い個体はコンセントレート（集中心力）が高いため、ブレードを持たせても習得が早い。カラダの構造、必要になる筋力が異なるため、転向にはそれなりの時間がかかる。



■ブレードユニットは何本が連結する事が可能。バイト中は対こぼれやトラブル用に数本持って、ドロイドに持ってもらったり、地面に刺して立ち回っていたりする。

■スキンフード背面

後頭部に見える灰色のコードは、パラコードでこれで表面の張力を調整する。黄土色のコードは通風孔の内部に仕込んであるLED・レーザー発振器用のケーブル。

後頭部まで覆う太い背骨のようなラインは、パッチを貼る用のマジックテープがついていたり、認識用LEDの光源（黄土色の三角形のモジュールがそれ）がついている。

お尻をふりっと持ち上げている赤いラインは、股関節のVラインへと続いており、アグレッシブな気持ちにさせる効果が認められており、斬撃のキレが上がる・・・と言われている。





■jkたちは基本的に共通の敵を相手にしているため、どこか1ヶ所でも手薄な所があるとそこから壊滅させられてしまう。しかし、1ヶ所に固まる事は拠点防衛上できないため、バランスよく戦力が分散するように、11のような存在がたまに橋渡し役としてやってくるようになっている。



■jk 11
通称「11」
ダークカラーの装備で身を包むjk。都市部を拠点にする集団で、戦闘に関しては相当な腕前を持ち、アグレッサー（仮想敵・戦闘教導）として戦力に不安のある地区に赴いて、訓練をつけたりする。jkの中でもかなり上のランクのエリート。



■jk 11 制御服

胸が大きいjkは制御服の胸部分が開いていて、そこからまろびでるようにゆん！とたっぷりやわらかな胸が顔を出しています。防御力？装甲？

女の子の柔らかい胸はそれだけで最強のふにふにアーマーなのです。あと譲れないのが股間部分の白いVゾーン。STGの自機のコクピットのような精悍なラインがグッときます。

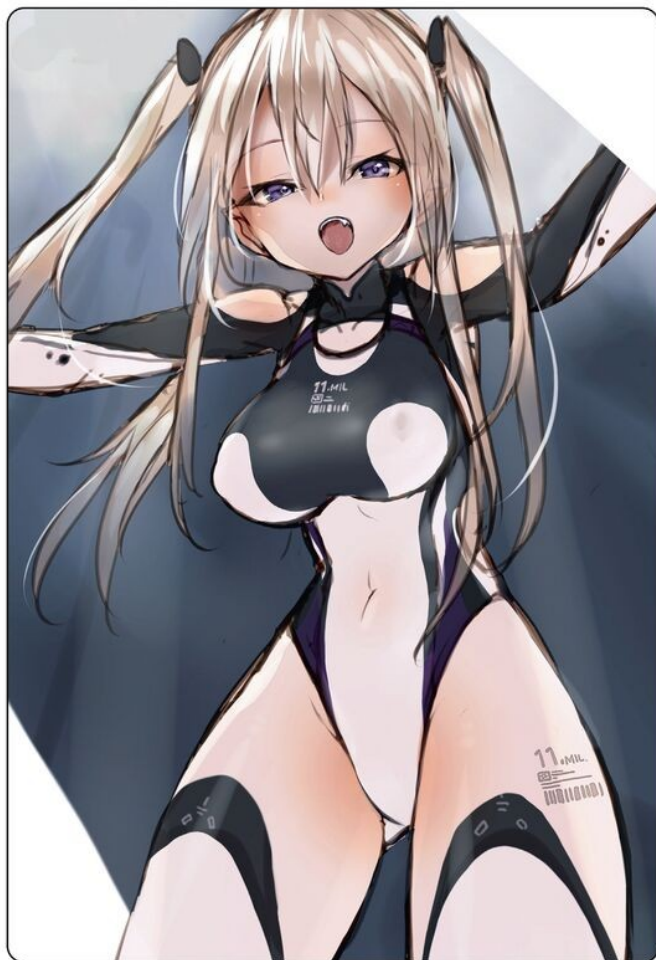


■jk 11 制御服

競泳水着をハーネスで縛って、その上からゴツイプロテクターってたまりません。一部のオトコノコが好きな要素全部盛りのお子様ランチ状態。ちらりと見えた八重歯が不敵な感じで厨二っぽさも盛り盛り！



■黙っていれば可愛くて強いのに、11は気に入ったコが居ると猛アピールをするという悪癖がある。英雄色を好むと言うのか、戦闘時は驚くほど冷静なのに、そこで抑圧しているためか、感情の波の起伏がそのまま行為に出てしまう。jkたちは重要な情報をその体内に隠し持っており、その解除キーとなるのが舌先・喉奥・耳奥・局部に存在する生体端子。そこに物理的にアクセスする事で隠し持っている情報を少しづつ引き出す事ができる。



■11の素顔。小悪魔系ながら、流石アグレッサーを務めるだけあって余裕を感じさせる巨元。白く華奢なカラダに不釣り合いな程にたっぷり実り詰まったやわらかな果実のような胸元が、競泳インナーになるとさらに強調される。



■JKの舌端子（生体端子）による情報交換レポート □034 少女型戦闘体 JK (Jagd・Katze 狩りする猫) たちの情報交換の一つ。

舌端子は固体ごとの唾液で保護されており、お互いの異なる唾液成分がナノ単位のデータ保護壁になって一回でやり取りできる情報は限られている。

この唾液をお互いにとって誘引物であり、異物でもあるので、「甘酸っぱく」感じる。

異なる唾液成分をカラダの中に抗体として持つ事が出来れば、よりスムーズに情報伝達ができるようになるが、ある程度の唾液を交換する必要があり、そこまで行く関係になるのがかなり難しい。

そもそも同じ少女型同士で舌を絡めることに抵抗を示す個体も居る。

■舌先に存在するバーコードのような生体端子
この端子は空気中の酸素に触れていると著しく伝達が落ちるため、口内で唾液にまみれた状態、お互いの呼吸の二酸化炭素、舌と舌のヒダが密接した状態、興奮による脳内分泌物や心拍・体温上昇など、様々な要因が相手と同調した時に、少しだけディープな自分の情報が伝わる。

このやり取りで少しずつ相手と通じあえる事に喜びを示す個体は多いが、拒絶されるのが怖かったりなど自分から積極的に行くのは苦手な個体も多く、そんなに頻繁には行われない。

基本的に積極的な個体で週1くらいのペースで、相手の事が知りたい、自分を覚えてほしいという切なさや疼きの衝動がピークに達するとアプローチをかけ、同意が得られると（またはどちらかが多少強引に）、人気の無い雰囲気のある所を選んでひっそりで行われる。

一度の舌同士の情報伝達で脳がオーバーヒート寸前まで行き、情報が処理しきれずチカチカと飛びるので一回の伝達で伝わる量は少なく、連続ではできない。

ただ、片方がお預けをくらい過ぎていた場合、欲求不満が爆発して脳がトロけるまで唇を重ね続ける場合もある。

押しが強すぎても奥手過ぎてもダメ、時間をかけて心のガードを解きながら惹かれるお互いを（もしくは一方的に超好きな相手を辛抱強く落とす気味に）理解していく。

■情報伝達をする事で、
・戦闘時の連携の精度の向上
・すぎな個体が近くにいる事で一時的に能力UP
・さらに深くなると隠された自分の本当の情報など

様々な効果があるものの、この行為に及ぶ1番の理由が「自分を覚えていてくれる相手がほしい」という一種の寂しさが根源という話もある。

少女型同士はあくまで一例で、謎型戦闘体のバディロイドと情報を交換する少女型も多い。またまた謎な点が多く、引き出される能力で判明している事も一例に過ぎず、観察が必要な生態の1つ。生体端子は舌先・喉奥・耳奥・局部にも存在し、それぞれ別機能を有しているらしい。喉奥・耳奥・局部の端子は存在を知らない者も多い。



■ifサイドストーリー、JKイーターに囚われた11。

この日バディロイドとケンカして、勢いでソロで出ていたのが仇になってしまった。11は戦闘能力が高いので、ソロでも大体なんとかなってしまうのも裏目に出た。適当にクリーチャーを狩ってエネルギー・金属資源を売ってお小遣いにして、夜は戦闘のストレスを〇1とチューしてウサ晴らしするつもりだった。バディロイドは謝ってくるまで許してあげないんだから。

〇1は素直で私と相性がいい。反応もカワイイ♡特に舌を入れた時にちょっとびくっとして舌を引っ込めちゃうんだけど、おずおずと舌先を絡めてくる所とか・・・♡丁度イライラとムラムラも程よく溜まっていたので、〇1とかなり楽しい事しよう♡と夜の妄想をして舌舐めずりしながら廃墟でバイトしている時だった。「!？」突然足場が崩れ、その廃墟の一角を根城にしていたJKイーターに捕らえられてしまったのだった。

粘膜で覆われた肉のベッドに囚われた11。柔らかくヌメヌメした感触。触手で両手を縛られ、その身を守る外骨格装甲を鉤爪のような骨で引き剥がれていく。シッ ギギッ・・・柱イ・・・バキッ ドクッ・・・ドビッ・・・ドクッ・・・ドクッ・・・ギギ・・・ギ・・・バキ!ブツッ・・・ビュッ・・・ジッ・・・

11の耳に、外骨格が無理に破壊され、中を流れるエネルギー液が噴き出す音がして無力化していく装甲の泣き声のような音が響く。一思いに破壊し少女の体から外骨格を剥がせばいいものを、装甲に突き立てた爪を少しづつ少しづつ、ずぶり、ずぶりとまるで11の体内に侵入するように押し込み、その爪からアメーバのように小さな触手を装甲の内側からまるでどくどくと脈打つ浮き上がる血管のように這い回らせて、回路を破壊し、蹂躪していく様子はこの生物の總病で慎重で陰鬱な性格をよく現していた。

「あっ」少女の最後の聖域である外骨格が機能を失い、ハイザー越しから送られていた映像が途絶え、11の視界が奪われる。11とのリンクが切れ、鉄屑となった外骨格から、まるで踏で力カニの身を剥くかのように、11の白く柔らかくてむっちりとした脚が装甲からずりりと触手で引きずり出される。大腿を広げ、まるで犬がおしっこをするような恥ずかしいポーズになる11。自分の置かれた状況に恐怖しつつ興奮し、装甲の暑さで汗で蒸れ、白いニーソックスから肌が透けた少女の甘いミルクのような匂いと汗の酸っぱい臭いが混じった独特の香りが広がった股からムワァと周囲に広がる。「私をこんな格好にさせて・・・コイツ・・・明らかに愉しんで・・・普通ならこころしてる所だけど・・・マジでヤバイ・・・でも・・・この手も足も出ない感じ・・・ヤバイのに・・・ソクソクする・・・♡」ぎゅうと触手が11の柔らかなカラダを縛り上げる。

「あうっ♡」逃れようと身をくねらせる11のカラダをねっとり観察するようにしばらく何もしなかったJKイーターだったが、ゆっくりと11の肌に触手を這わせ、その肉の蕾の体内の中に少女を顔からじゅぽん♡と飲み込んだのだった。明かり1つなく、人気の無い廃墟の一角、カサカサの肌のように崩れ落ちたコンクリで飛れ果て、露出した肋骨のような鉄筋から引きずり出された臓器のようなJKイーターの肉の檻の中から、くぐもった少女の甘い声と、どっちゅ♡どっちゅ♡と肉と肉が打ち合わせる音、どくっ♡どくっ♡と液体の進む音が夜が明けるとまで休むこと無く暗い廃墟の中に響き続けた・・・

*JKイーター
JKイーターは動きは非常に遅いが、思わぬ所に地点を構築、迷い込んだJKを捕える触手お化け。JKを倒す事が目的ではなく、どうやら自分の周囲を守るマリオネットのようにJKを使いたい。

JKイーターがJKを捕食したりするような事はほとんどなく、発見が早ければほとんどの場合助かる。しかし一種の強い催眠状態になっているため、解毒と消耗した体力を回復させる必要がある。

JKイーターの周辺にはゾンビジャケットの目撃例もあり、出処不明のJK・ゾンビジャケットとの因果関係が噂されているが、定かではない。



■jk 17
 気になること舌端子を重ねたいけど自分からは切り出せない17は、バイト前に飲むカプセルを舌に乗せ、ゴックンさせてアピールをして誘引するというピクリムツリあざと戦法を使う♥

■jk 17
 おとなしおかつぱの17。胸が大きいので制服の上着を着ると強調されるタイプのものが支給されているため、恥ずかしくて普段は腰に上着を巻いている。奥手で自分からアクションを取ることが苦手な性格。LEDのアイバイザーもなんだか頼りなさげな表情に見える。

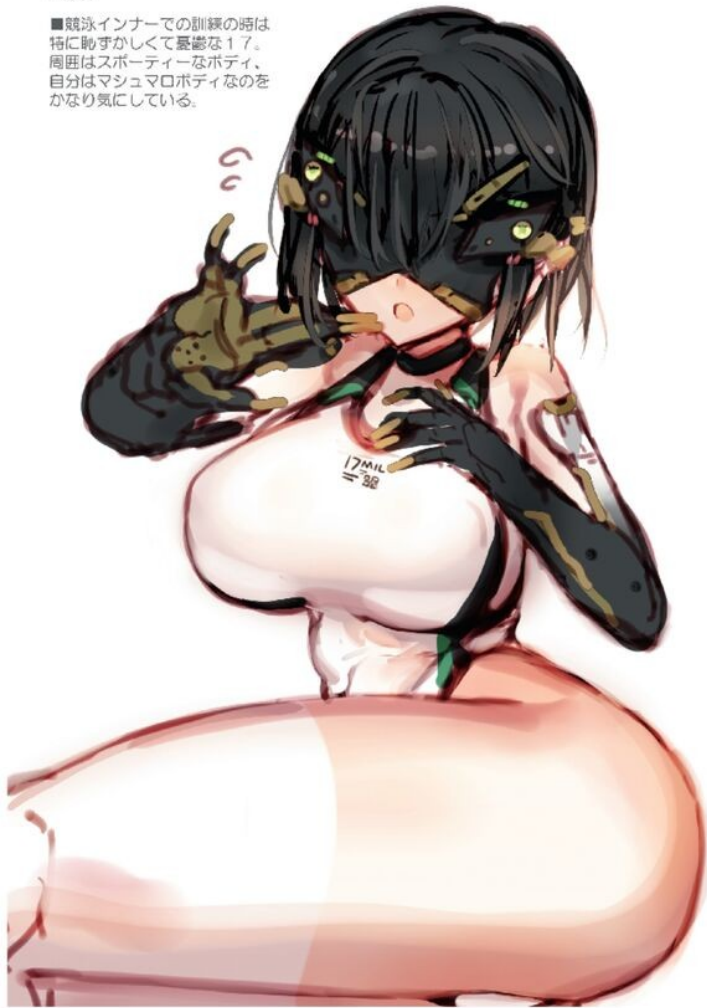
2018.09.14
 rordobell.



17 ANIL
 2018.09.14
 rordobell.

□041

■競泳インナーでの訓練の時は
特に恥ずかしくて憂鬱な17。
周囲はスポーティーなボディ、
自分はマシュマロボディなのを
かなり気にしている。



□040

■自分のちょっとだけ太ましい体型に
あまり自信がない17は見られるのを
嫌がる。競泳水着インナーがキツく、
擦れてしまい嫌なため、競泳は着て、
肩紐をかけず、そのかわりに
縞々のブラをつけるという
びっくり重ね着をしている。





■17のアイバイザーには片方に一本だけヘアクリップのようなアンテナ状のパーツがついている。ミチミチに詰まった胸元はボタンがすぐに飛んでしまうのと、胸元がぎついのがイヤなので、常に開けっ放しになっている。胸の谷間に架かる、細く頼りないブラ紐が目を引く。

制御室と同様に、ブラウスも戦闘用。液にベンチレーションがあったり、体格にあわせ様々なパーツをつけるjkに合わせて、種類が豊富にある。



■本当にお前は奥手なのかと言いたくなるほどにアピールしまくりのあざとい格好の17。他のjkではあまり見られないが、アイバイザーの表情LEDが涙のエフェクトを多くつくるのも17の特徴。奥手だけど興味津々、自分からは言い出せない17の明日はどっちだ！



■17の素顔。発情期の衝動は強く、いつものふえな表情は影をひそめ、無言で強要するように見つめ、淡々と肌を重ねる事を求めてくる。17そのものが「ESTRUS MANAGEMENT DEVICE」になったと意識させる瞬間。

■jk 17 ESTRUS MANAGEMENT DEVICE
おとなしおかつぱ、隠れムッツリ17。

jk（ヤークトカツツェ）はバイト（戦闘行為）で溜まった精神的・肉体的ストレスを発散するため、体の疼きが抑えられなくなる周期が存在する。

これは人型のjkが戦闘マシンに陥らないための生体的なカラダと脳の反応と言われ、バイト前に飲むカプセル状の薬剤によって、多少そのピークになる時期を自分の意思で管理できる（あまり薬剤で抑えつけすぎると、その揺り戻して大変な事になるらしい）

この一連の事象は「ESTRUS MANAGEMENT DEVICE」と呼ばれ、発情によるストレス管理のシステムが備わっていると見られている。

異様に人肌恋しくなるその期間は猫の発情期とも言われ、普段おとなしい者でも人が変わったようになりかなり大胆なアピールをする。行為に及び時は素顔になるため、安全で他の者の目が届かない場所を選んで行われる。集会所などで顔を合わせる時は大抵その周期外なので、jkたちのコミュニティは割と風紀が保たれている。一部102などのように常時発情期のような例もあるが、何にでも例外はつきもの。

jkは肌を合わせて気持ちの共有が出来れば安心できるので、相性の良い者同士で舌触子を重ね辛い悦びを共有したり、ある者は耳奥を掻め、舐められる事で疼きを発散させたり、溜め込んできたものが強かった場合は、結構ハードな時を過ごす。

17はこの周期の衝動が強く、理性が飛ぶと機械のような表情で淡々と、相手をそのための道具のような目で見てむさぼるように行為を求め、ただただひたすらに満足を得ようとするようになる。より力強い者に包まれない時はドロイドとこの周期を過ごす。

この周期は個体ごとに波があり、すべてのjkが同じ時期に来るわけではなく、その行為の内容も激しさも個体ごとに異なる。



図17、アプレートのエ



■水 18
 漂々しいおねーさんタイプながら
 後ろは丸見え。
 よく手入れされてお美しいです、
 お姉さまの雪見だいふく！

はっと見て11と髪型が似ているが、11よりもかなりロングヘアー。

制服肘部分にスリットがあり、
 外骨格とカラダを固定するのに制腺の中を通して自然に固定できる。

黒と赤とかなり威圧的なカラーで戦闘力も高め、
 一見近寄りたいたい雰囲気だが、本人は面倒臭いいい先輩タイプ。
 守ってあげたいような後輩妹系に嫉妬弱く、
 気に入ったコが居ると何かと世話を焼いてあげて妹にしようとする。

自分の能力にあくらかかない努力家で、
 訓練場の一角の18が使う射撃ポイントや、
 ランニングで使うルートは擦りあがって地面のコーティングが剥がれたり、
 雑草が牛えなくなってしまう程。

ICHIハンガーを愛用しており、
 日々自分の射撃ポジションの感覚を調整すること存心かさないため、
 耳の位置まで両手を上げて銃の位置まで手を下ろすという行為を頻繁にやっている。
 18の持つ1911タイプのグリップは握りすぎて指の部分が擦れて、
 一部チェックリングが薄くなりツルツルしてしまっている。

マシメなコだが、カワイイものを見るとドレッシェになってしまったり、
 お姉さまと呼ばれる事に弱すぎるのが玉にキス



2018.12.10
 kondobell.



□051

■jk 69 制服+サーベントギア



□050

■jk 69 制服



□053

■jk 69
競泳水着インナー
+サーペントギア



□052

■jk 69
競泳水着インナー





■アンバランスながら凶悪な魔性を秘めた69

■甘えん坊で人懐っこい69。

体が小さく、非力な彼女は誰に対してもえへへ〜と無邪気な可愛らしさで懐に入り込み、その中でターゲットに絞った相手、驚異と見なした相手を、徐々に体も心も自分のカラダの魅力に縛り落とす魔性
「モード：サキユバス」を持っている。

幼いカラダに異常とも言えるほど大きな胸が、彼女の存在の歪さを表している。

最初は「えへへ〜(´σ`´) おねーちゃん」と言って近づいてきて、気を許すといつの間にかその尻尾で優しく締め上げられながら「ほっら・・・ふかふかの大きな胸のママと・・・気持ちよくなるーね・・・」と歪んだ笑みを浮かべて催眠の快樂沼へ引きずり込む蛇のような少女。

蛇のそれのように細長くどこまでも侵入するうねる舌を持っており、jkの舌先の生体端子はもちろん、多くの氷たちもその存在を知らない、嗅覚と耳奥に存在する特殊な生体端子にアクセスする事ができる。

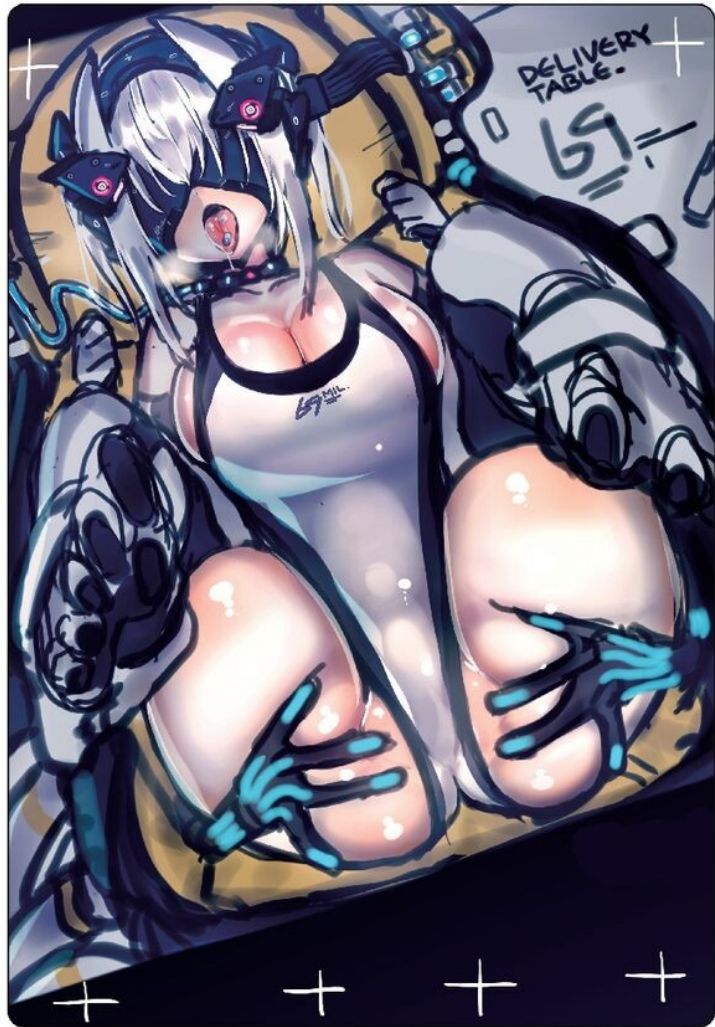
特に耳奥の生体端子を探られる時、耳の内壁を舌でソルソルと舐められ、吐息と鼻息が敏感になった耳を震わすのと相まって、脳を直接侵されているような、異様な快感が伴うらしい。

抜き取ったデータは魅了というかなり無理矢理な方法のため暗号まみれでバグが多く、もうひとりの69に強して遠慮してもらわないと自分たちで能力として使う事ができない。データの受け渡しはお互いが興奮した状態でないとならないために、データを流し込み、流し込まれる、責めと受け、雌雄の関係が交互に入れ替わる。

ナンバー69たちはあまり戦闘向きのタイプではないために、諜報行為と魅了、そして収集したデータを改竄して相手に流し込み、場合によっては内面から壊す事で身を護る、特殊な生存方法を身に着けたと見られている。

非常に強い催眠能力を持っているが、その誘惑に打ち勝った場合、ほぼ抵抗する力を持たないために好きにすることができる。

基本的に共通の敵性体を相手にしている筈なのに、何故氷担う能力を持っているのか、69たちが何を目的に行動しているのかも不明。



□057

「delivery table」から伸びた首輪から神経叢に栗液を投下されて喘ぐ69。 □056

「モード・サキュバス」という特殊な能力を有する彼女は、体内と脳の分泌物のバランスを制御するために、経口栗や栗液で定期的に襲ってくる凄まじい痒みを抑えている様子。

下半身に伸びた指のような形状の器具にも栗液のチューブが這っており、太もも裏の皮膚上から圧着し栗液を染み込ませて、神経が集中している下半身、局部周辺の痒みを抑えている。

「あつっい・・・カラダの中・・・とけちゃう・・・ぎゅっとしてえ・・・」
 烈にうなされたような69の切ない声が辺りに木霊する・・・



集会所(CLASS)

■次ページ：巨乳ロリ69の片割れ。べたんこロリのナンバー69。

アイバイザーには眼が4つあり異彩を放っている。せえ上手で、相手に蛇のように絡みつき取り入るのが上手い巨乳ロリ69に対して、べたんこ69は落ち着いていておとなしく、口数少なく幼く端正な風貌、捻れば簡単に折れそうな細く白い四肢の人形のように儚く妖艶な魅力で相手を蜘蛛の巣で絡め取るように引き寄せさせる。

「モード：インキュバス」という能力を有しており、巨乳ロリ69が相手から引きずり出した情報を口移しで受け取り、体内で改竄して、別の相手に流し込むという恐ろしい情報改竄能力を持っている。

これをされると、自分が違うナンバーだと思い込んだり、記憶の歪曲が生じてもがき苦しむ事になったりする。他にも改竄には様々な用途がある。

戦闘能力値は全体に低く、射撃の腕でカバーしている。ロリ巨乳同様に体軀が小さいため体力はないものの、持久力はある。

「モード：インキュバス」発動時は性格が変わり、巨乳ロリも頭が上がらずオモチャにされる。おとなしいが敵に回すと恐ろしい存在のべたんこロリ娘。

□059



■jk 69 制御服

□058



■jk 69
べたんごロリ
瓶鉢型のアラクネギアをまとう。

□061

■普段はおとなしく、アンティークの西洋人形のように可愛らしいため、JKの間でもそれぞれに人気があるが、本能的に怖い何かを感じ取った他人からのJKは距離を取っている。

他のJKたちと同じく、敵性体と戦っているので、バイトにも出ており、他のJKたちと協力して戦っているが、JKの中でも特に非力な部類なので攻撃力こそないものの、知略に富んだトリッキーな戦い方を得意とし、

自分のカラダを盾にして敵性体をトラップにハマるような危険な戦法も、時と場合で選ぶ事が出来る。



□060

■筒状型のアイバイザーとギアは相手を消らせるのに威力を発揮する。その華奢な人形のような容姿とたまたまに惹かれて近づいた相手から自由を奪い、好きなようにするための凶悪なギア。

自然界の蜘蛛がそうであるように、彼女もまた自分のテリトリーに入った獲物に糸を絡みつかせ、少しづつ自分のものにしていく。



□063

■他のik、かたわれの69と比較しても、圧倒的に淫靡なボディの持つひとりの69。

ほんの少しだけ影らんだ胸、なだらかな下腹部が競泳インナーによってくっつきと浮かび上がる。華奢なボディに熟れた果実をたわわに実らせたかたわれの69と違い、すべてが未成熟なボディがこの69の武器とも言える。

ikや敵性体は、未成熟な属性に取り憑かれたが最後、べだんこロリ69の沼にすすると引き込まれ、糸でぐるぐる巻きにされるように彫にされてしまうのである。



□062

■アラクネギアー競泳インナーの太ももやふくらはぎの側面に見えるアームのようなもので相手の体を拘束する。

巨乳ロリ69が「モード：サキュバス」を使い、相手から引きずりだした情報を受け取る時、体を刺かさないようにこのアームでしっかりと掴む。

おとなしく、おしとやかだが、巨乳ロリ69は、このべだんこ少女の内に存在する本当の性格、冷艶なまでのSをカラダで理解しており、

「モード：インキュバス」使用時、Sモード全開のべだんこロリ69には基本的に巨乳ロリはされるがまま、泣き叫ぶ巨乳ロリ69の囁き声すら己の快感に使う程の狂気をべだんこロリ69は内包している。

ただ、べだんこにも弱点はあり、巨乳ロリ69はそれも知っているので、常にやられっ手はなしではない様子。





■拘束大好きjk 102

17と同等か上を行く牛のようなバストを持つ102。
17と同様に競泳インナーの鉤元をはだけるように着ているが、17と違うのは胸の先にセンサーを取り付けるためにわざと水着をずらして着ている点。黒髪にブルーのカラーリングが清楚なイメージを与えるが、胸の先以外にも体中の到るところにセンサーをつけており、たまに電流を流しては1人でビクン！と反応して愉しんでいる。それも自分の意思ではなく、身にまとうギアが気まぐれに流す電流なのだから如何にキているかが伺える。

高い戦闘力を持つが、自分の体を機械に監視され、かつ拘束される興奮で強くなるという、ものすごくめんどくさい性癖の持ち主。

まるで引き裂かれそうなニーソからあふれる肉や、内蔵や子宮を上から圧すようなインナーラインなど、拘束され監視される事に興奮する彼女のアブナイ性癖が窺になっている。

強くてなかなかマウントを取られる事はないが、本当は乱暴にされるのが好きらしい。

ギアによるランダム電流以外にも、興奮度が下がると自動的に電流が流れるアブナイ特殊仕様のインナーをカラダを縛り付けるように装着している。並の興奮では飽き足らず、腹を這うセンサーから直接卵巣・卵管・子宮に刺激を与えていたり、体の内外ともに常に何かしらの刺激を受けている。

本人曰く

「ッ・・・ギュッと縛られて・・・肉に食い込む苦痛・快楽からぁ・・・
逃れられない状況だからこそ・・・ハハハ・・・肉体という檻を つ、強く
・・・(ブッ) っ、強くっ・・・(ブッ!) あんっ
・・・いば、意識できてゑ・・・! 生きてるじっか、実感が・・・わ
湧く のぉ・・・! (ビッ!) ひっ!」

らしいのだが、頑良さそうなこと言ってるように見えて、ただの拘束フェチのスケベ少女が熱烈にうかされて言ううわ言にしか聞こえないのが残念。

ただ一面で正しいのが、四六時中刺激を受けているため全身の神経が末端まで常に高いレベルの反応速度を維持しており、細胞も若く肉という肉がビッチビッチしている。元々の戦闘センスの良さもあり、バイトになるとその反応としなりのある肉体を駆使し滅法強い少女。

反肉な事に弱点になるのも自分で開発してしまったそのカラダで、もし敵性に捕らわれてしまった場合、割と簡単に墮ちてしまう。強いから捕まる前に倒してしまうが、もし捕まったら簡単に陥落。

黙っていれば黒髪ロングの清楚な美女、口を開くとただの痴女という残念jk。ヤートカツツェにははまともなコがほとんどいない・・・

□067

■jk 102
制服ブラウス

砲弾型の102の
胸をサポートする
ために、胸部を
乳バンド状に
したブラウス生地で
ホールド。



□066

■jk 102 ベスト姿
スカートはこれくらい
チラッと見えてるのが
好きです♥



□069



■スカート無しver.
 火は女子高生とヤークトカッジェを
 掛けた名前なのと、
 制服でコミュニティを作る所から、
 ちゃんと制服っぽく
 スカートを付けていますが、
 競泳インナーを装着しているので、
 別にスカートがなくても
 個人的にはいいかな！とか
 祟っちゃったりもして・・・w

■特に102はアシな娘なので、
 こういふ格好が逆に自然に見えるというか・・・w
 スカート穿いてると、アレ？と
 逆に不自然に見えるという・・・w

いや、でもスカートも好きです。
 特にパンツが見えるか見えないかの
 ギリギリなラインまで上げて、
 しかもその上から制服なりベストなりで
 スカートをちょこっただけ見えてる
 あの組み合わせは、ある意味利眼に通じる
 味わいを感じます。

何を言ってるんでしょうね・・・ハハハ！

あとフトモモにバーコードタグ。
 それから夜を聞いた時に内モモにも
 翻唱コードが好きな要素なんですが、
 102はそういう徹底的に「モノ」という
 感じの記号が似合います。

人によっては嫌だと悪われるかもですけど、
 火たちはどこか「モノ」っぽい感じを
 前面に出したいなと思っています。



□068

■102 競泳インナー



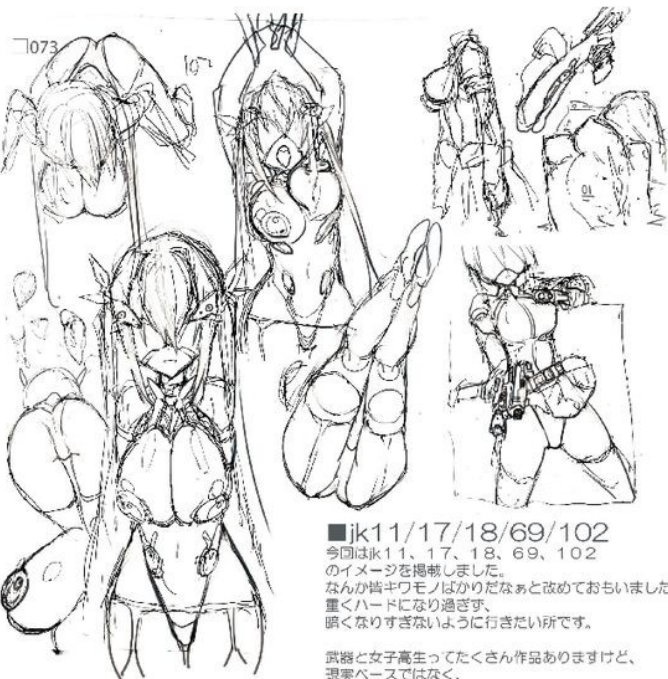
□071
■102 プラウス正面



□070
■102 競泳インナー正面



■102 プラウスベスト正面

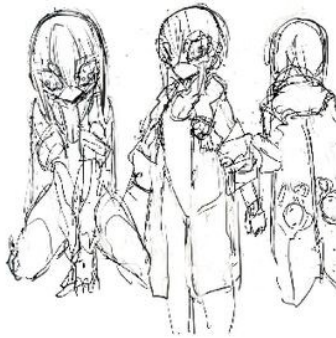


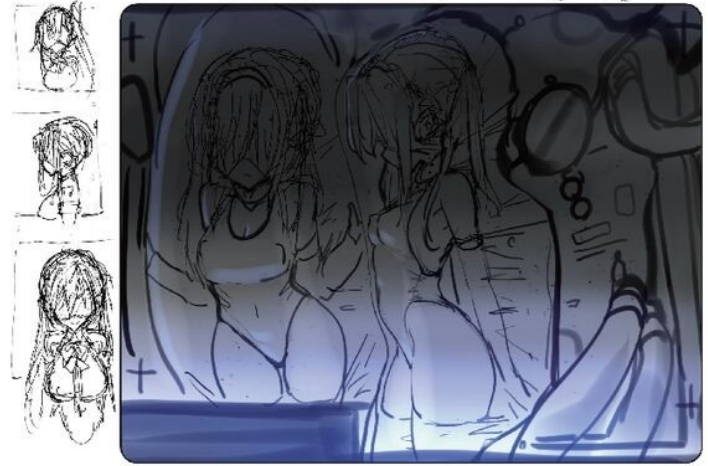
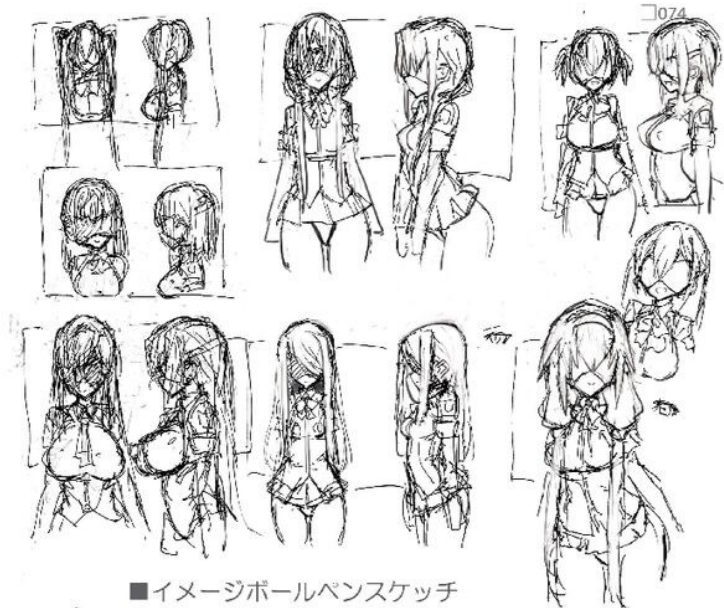
■jk11/17/18/69/102

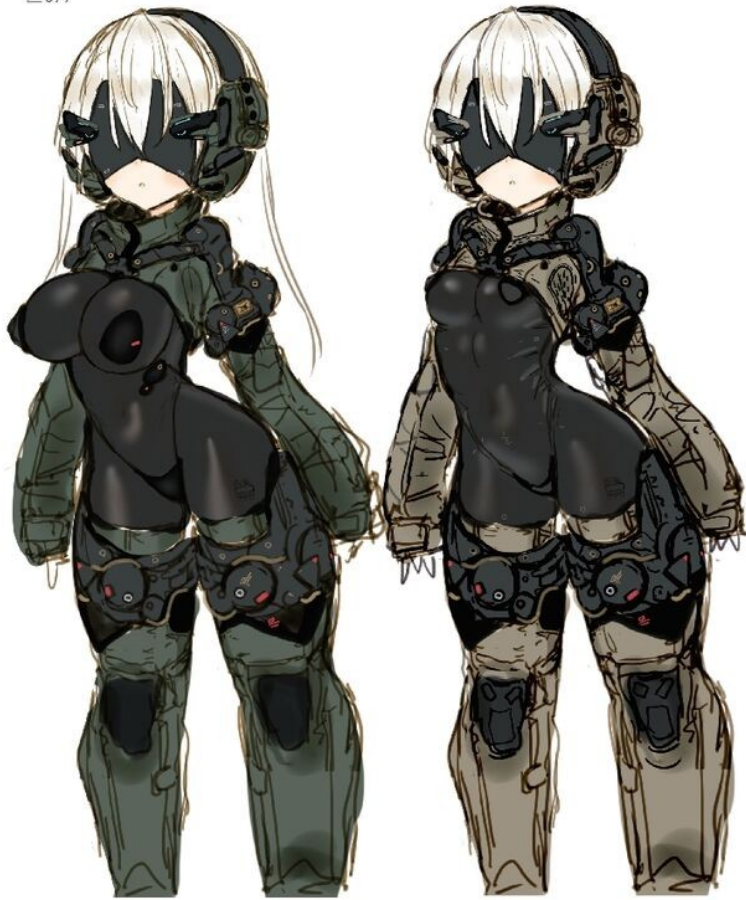
今回はjk11、17、18、69、102
のイメージを掲載しました。
なんか皆キワモノばかりだなあと改めておもいましたw
重くハードになり過ぎず、
明るくなりすぎないように行きたい所です。

武器と女子高生ってたくさん作品ありますが、
現実ベースではなく、
架空の世界で戦っている少女戦闘員たちが、
現実世界の女子高生と似通った行動様式をしていて、
名前をjkという、とした方が、
フィクションとして、SF的なファンタジーとして
色気掛ける幅も増えていいかなと思ってやっています。

これが現実の女子高生です、としてみようと、
倫理的にも、他にやり尽くされているという意味でも
描けるものがかなり限定されてしまう。
架空の世界なら、ドROIDも出せるし、
少女の見た目をした戦艦体向上だから、
チュッチュ♥あーん♥もできるし。
戦闘というイレギュラーな状況において、
ストレス発散に肌を重ねないってそんな~~~~！
と思ってしまうので、ヤクトカツェという
（持ちする布）名称をフルに履いて、
発情期があったり、なるべく好き勝手
できるようにしています。
イイ話を作りたいんじゃなくて、
人間とは違う、ミルフィーユという「戦闘少女キャラ」
だからこそ描ける
（男にとって非常に都合のいいSFファンタジーとして）
武器と女の子とメカの戦歴、その中で希望もあれば
アがる展開のある関係が描ければいいと思う次第です。





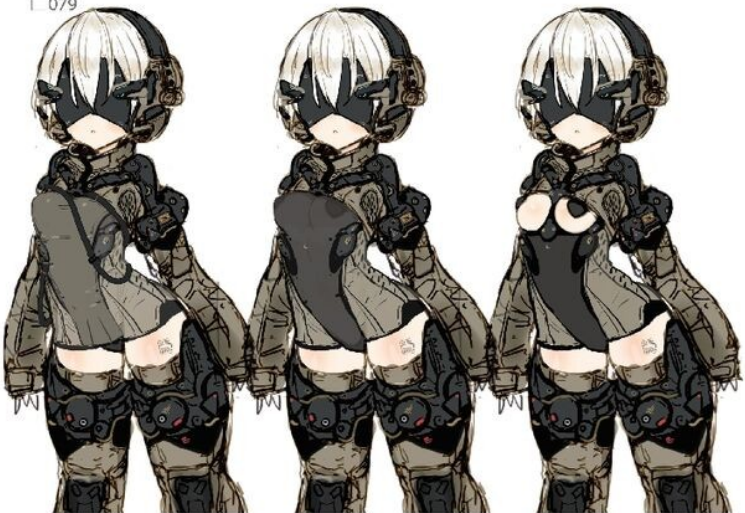


■jkミリタリー룩
 制御服ではなく、ミリタリーな衣装のjk。
 胸部分がかパッと開いているのはプレキャリを替けるようなデザインらしく、
 現実に見かけます。が、女の子の美味しい部分を隠してしまうのは勿体無いので、
 自分が使う時はあくまでも体幹部分を美しくみせるための衣装という感じに・・・w

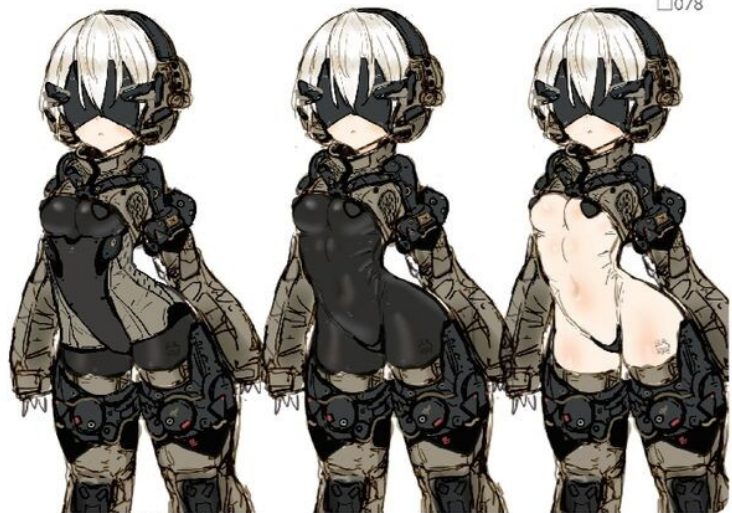


■迷彩は周囲と体のラインを
 曖昧にし、溶け込ませるための
 デザインパターン。
 たまにスカートに迷彩を
 使っているものを見かけますが、
 お尻のラインとかが曖昧になるので
 あまり相性が良くないように思います。
 あくまでダボッとしていて、
 ラインを消してもいい広い面積のある
 部分が望ましく、女体に使う場合、
 選択のしどころが中々難しいです。
 ・手足を迷彩で覆うと、まるで
 胴体だけが自然の中に
 浮かび上がるようで
 ハレンデ！でもイイ！w

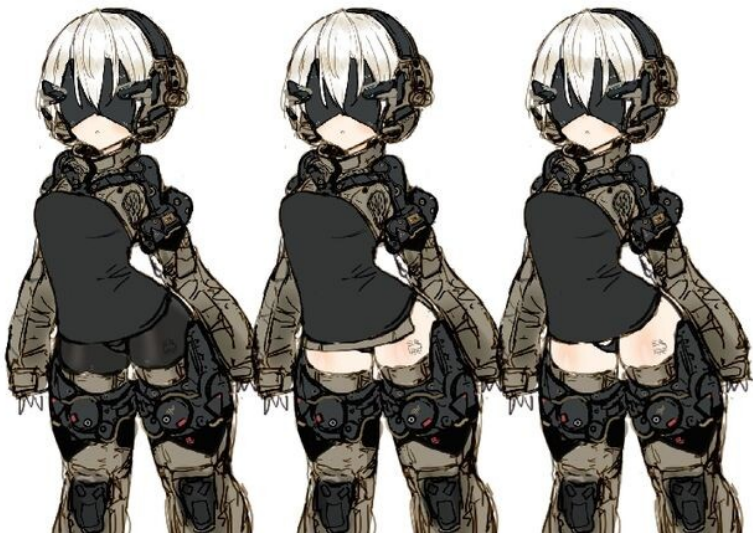
□079



□078



■バリエーション
 いくら実際に性能が良くても、見た目でグッとくるカッコよくえっちな感じじゃないと
 ヨシッ!となれないので、色々試してみて、良かったのを採用していきます。



■mil:file [jk] (jagd katze) アーリータイプ

ここからは今の形になる前のものになります。
 とはいっても、これもjkではあるんですが、キャラの記号として
 今のものよりもおとなしいものになります。
 制服（制御服）などの設定が出来る前の、単純に女子高生風の制服に
 ギアを組み合わせる頃のものです。キャラクターを作り慣れていくと、
 だんだん量産型感が薄れて、ワンオフの特別感が出てきてしまうので、
 宇宙世紀で言うところのガンダム的特別感ではなく、
 ジム的な量産型の味わいを大事にしたい所です。

あまりSFしすぎた設定を衣装に盛りすぎてしまうと、
 本来のタクティカルな感じから離れすぎてしまい、本末転倒なので、
 どの辺りの手さで止めるかが匙加減の難しい所です。
 現実でありそう〜 くらいの制服で止めておかないと、
 銃弾ではなくレーザーが飛びそうな印象になってしまって、
 それではダメなので・・・
 ファンタジーSFな軍服じゃなくて、制服。そこが難しい所です。

ただ単に、現実にある制服を使っても面白みがないので
 （商業やフィギュア的には一番それがウケがいい気はするんですが）
 ありそうでない、ファンタジーになりすぎない丁度いい
 塩梅の制服をデザインするのが1つ目標です。

制服はそれ単体でかわいいという側面以外に、画一的で堅苦しく、
 少女を社会的にも身体的にも型にはめ押しさえつけるものという面も
 あるような気がして、
 それに反抗して各マスカートの丈を短くしたり、着崩したりして個性を
 出す所にも魅力があるように思うので、うまいことお望み感じに
 して、崩した着方をさせたいものです。

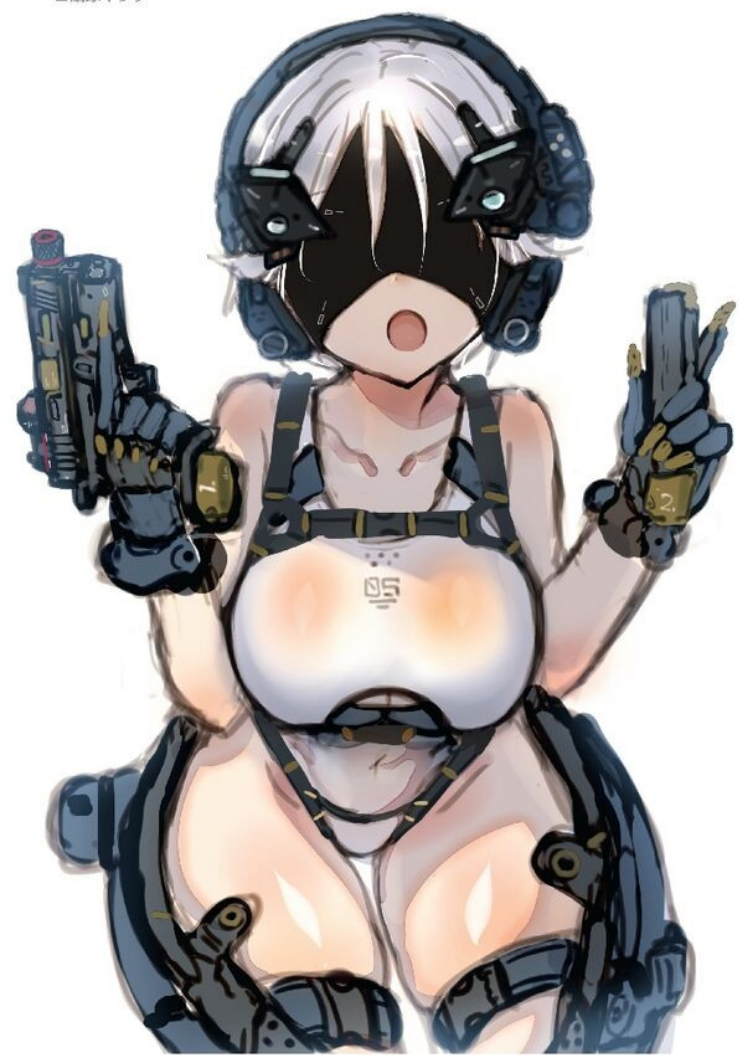
また、銃を扱う時に「その銃を持っている事がカッコイイ」という、
 スポーツカーの横のキャンペーンガール感ではなく、
 「射撃」に魅力があるという描き方をしたいなぁと思います。

自分自身、トイガンを選び方が見た目も勿論重視しますが、
 いかに手にしっくりくるかという点を見る傾向にあり、
 根源を辿っていくとトイガンのヴァッシュが銃を扱う修行をしていて、
 その訓練の様子がカッコエなあと思ったのが大きかったので、
 銃を道具、体の一部として使い込んでいる、
 という感じに描ければいいなぁと思います。
 新品より、ホルスターで擦れたスライドとか、
 使い込んでグリップがつるつるになってる感じ。
 と言いつつ、今回はキャラ作成ばかり努力を使ったため、ろくすっぽ
 銃を描いてなくてごめんなさい・・・
 今後ぼろぼろ増えていきますw



□083

■競泳インナー



□082

■競泳インナー
+プロテクター



□085

■制服



□084

■制服+プロテクター



□087

■素顔+黒インプロテクター



□086

■素顔+黒インナー



□089

■素顔+制限



□088

■素顔+制限+プロテクター



□091

■下着を着ずに水着なのは、最初制服が汚れても戦えるからと考えていたんですが、水着は何かと便利なのでデフォルトに・・・



□090

■制服。スカートの丈はパンツが見えないギリギリが、スカートの露出は上着から指2、3本分くらいが好きなので、ついつい短めに・・・



□1093

■見上げたアングルでスカートの中が見えちゃう。でも平気、下は弱泳水着！自分でもハカだなーと思いますが、妄想の産物で遠慮してもしようがないので、好きのエッジを尖らせて参ります(°▽°)



□1092

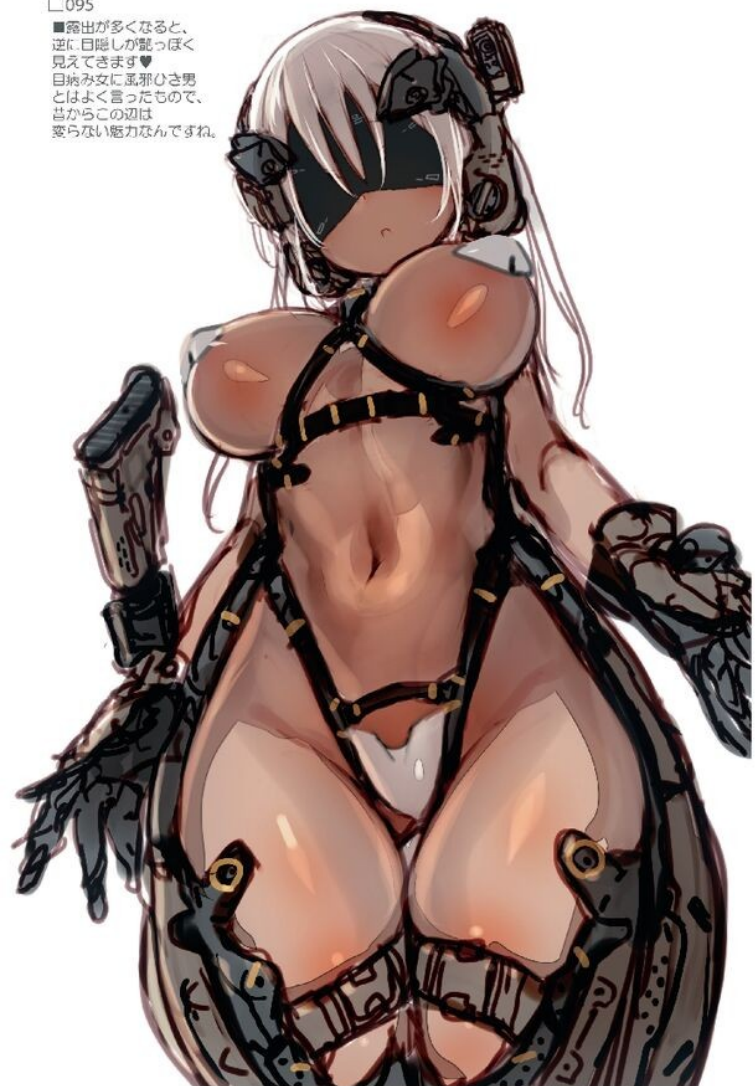
■ローアングルからハーネスでまるで縄のように縛り上げられて、若干ボンレスハム気味のおお。少女体である以上、ここは擦れません。オトコノコに優しい！

2018.05.02
bondoball.



□095

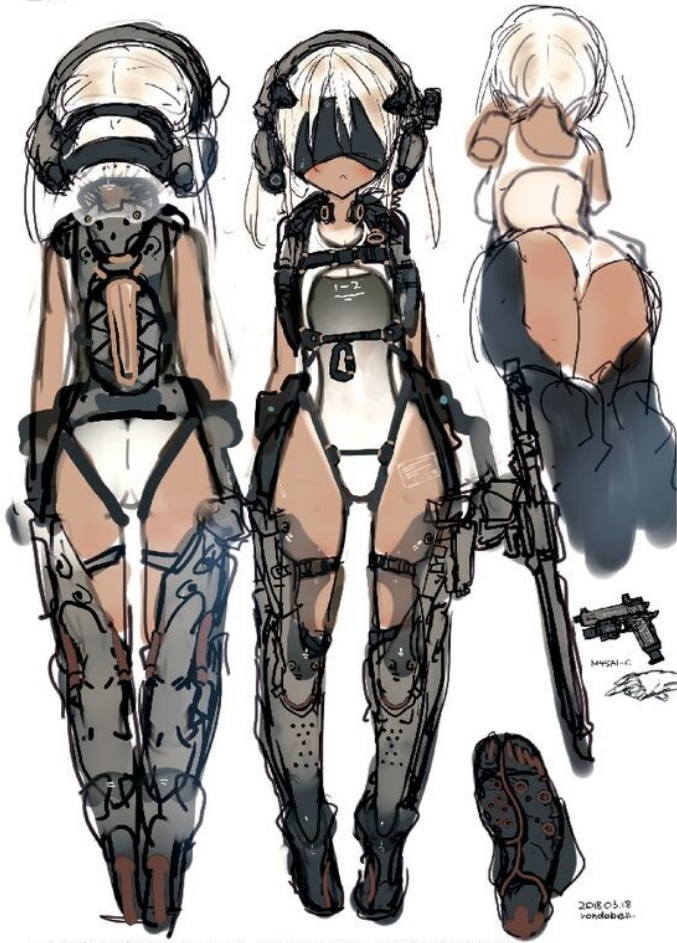
■露出が多くなると、逆に目隠しが罷っほく見えてきます♥
目病み女に風邪ひき男とはよく言ったもので、昔からこの辺は愛らない魅力なんですネ。



□094

■海外のカレンダーでよく見かける、何故か露出の異様に高いねーちゃんと紙透。クルマもそうですけど、男は何故かカッコイイとホウものと、女体を組み合わせる傾向にありますね。どっちも好きなんだからしょうがないよね〜♥





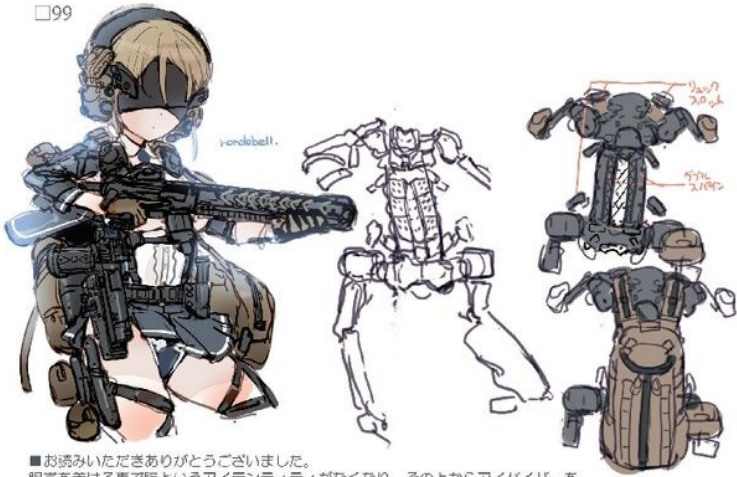
2016.03.18
vondeben.

■自分が現場が好きなのもあって、過剰な火力より、半発で的確に射抜く事、一撃を重く届ければカッコイイって思っているので、タクティカルなスタイルでの射撃要素を軸に、かっこ可愛らしい女の子が、テクノロジーを使ってカラダを補強して、一撃の重い弾丸で戦うのを描けたらいいなぁと思っています。カッコイイスーパーな銃器で無双するんじゃなくて、キズのある敵を使う目隠しタクトレ少女の「射撃」がポイント。

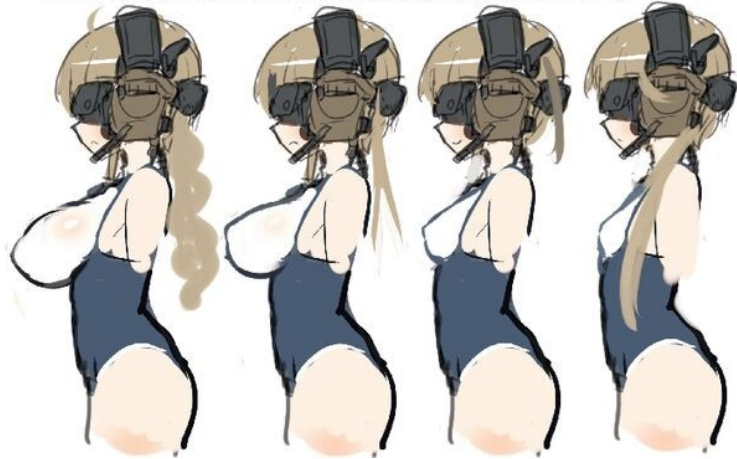


2016.03.18
vondeben.

■kのコンセプトは、キャラ要素を極力抑えた射撃ユニットとしての理想の自キャラ。サバゲもやるんですが、純粋に狙って撃つ「射撃」が好きで、そもそもサバゲに興味が出たのも、マグプルのタクトレームが入り口でした。サバゲのように相手が居るのも好きなんですが、メタルギアにあった訓練施設のような所で、ターゲットがモリモリ出てくるのをただひたすらに撃って腕を磨きたいという願望が自分にはありまして・・・



■お読みいただきありがとうございました。
 眼帯を着ける事で瞳というアイデンティティがなくなり、その上からアイバイザーを着ける事で、女性のカラダの美しい部分と、男視点でバトルの時ほしいカッコイイメカパーツの要素を両立。単体で見るとはちょっと物足りない彼女たちですが、ちょっと地味で少し手な感じが、逆にアクションゲームやシュミレーションゲームの自軍ユニットになった時に育てる愛着が湧くように考えています。
 目が無いんじゃないかと、あえて瞳という最大の個性を抑える事で、その下の素顔がみたいなおどろおどろできるのもあります。
 女性から見れば気持ち悪いはあって感じだと思いますが、この辺りは欲望に忠実に、自分で一番グッとくる。戦闘少女で自キャラにするならこういうパッケージで！という感じです。
 引き台なので変更も多々ありますが、こういうの好きな方は楽しみにして頂けると嬉しいです(*´▽`*)



■jkのプロトタイプ
 当初はゾンビのようなものと戦いながら登校する少女たちを考えていました。眼帯はしているのは吐瀉物から目を守るのと、顔を覚えられないようにする目的で、これはそのまま引き継ぎました。
 接地性の良いバッシュなどを装備し、タクティカルな女子高生でしたが、学園を舞台にした女子高生と銃モノはたくさんあるのと、個人的に描きたいドroid（メカ）との絡みが現代モノだと描けないので、jk（ヤークトカッツェ）という名の戦闘少女体へと変わりました。